

共同生活援助事業所 ふれんど

1. 運営方針

グループホームは、小規模入所施設ではない。入居者の生活は、可能な限り一般家庭に近い形での生活を目指します。いわゆる、あたりまえの生活である。3カ所のグループホームに入居している12名の目指すところは、それぞれ異なるが入居者個々の目的が達成できるように支援します。

2. 2022年度の目標

(1) ふれんど1・2

人間愛ゆたかな施設を目指すために、ふれんど1・2は、小規模入所施設という考え方ではなく、地域社会の中の一グループホームとして、地域の中で安全で安心して、快適な生活を送られるようにします。

- ① 2016年7月の相模原殺傷事件を教訓とし、防犯対策を考えます。
- ② 新型コロナウイルス感染予防対策を徹底します。また、保護者の同意を頂き、ワクチン接種を考えます。

(2) なごみ

人間愛ゆたかな施設を目指すために、なごみは、高齢入居者の人生の週末をゆったりとした環境の中でのんびりと人間らしく暮らせる様にします。このような生活が送れる様に健康管理をしっかりを行います。新型コロナウイルス感染予防対策を徹底します。また、保護者の同意を頂き、ワクチン接種を考えます。

(3) 新しいグループホーム建設の検討

ホテルの郷が定員40名体制を目指すこと及びすまいるの利用者さんでグループホームを希望する利用者さんの受け皿として、また、社会のニーズに対応すべくグループホーム建設の検討を進めます。新しいグループホームは、豊川市一宮町宮前の土地に建設する複合的な建物の2階に設置します。「ふれんど」は、現在の定員12名体制から定員20名体制を目指します。

利用定員及び利用形態

- ① 利用定員 定員は12名。(ふれんど1 4名、ふれんど2 4名、なごみ 4名)
- ② 利用形態
共同生活を営むべき住居を提供し、入居している障害者に対し支援を行います。